2019年６月３日

ギガプライズの不動産賃貸管理システム「IT導入補助金」の対象サービスに認定 「FutureVision® Plus」、「FutureVision® Building」

株式会社ギガプライズ（名証セントレックス上場、証券コード：3830、本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：梁瀬　泰孝、以下「ギガプライズ」）の不動産賃貸管理システム「FutureVision® Plus」及び「FutureVision® Building」は、2019年５月24日経済産業省が推進する「平成30年度補正サービス等生産性向上IT導入支援事業（IT導入補助金）」※ の対象サービスに認定されました。サービス認定は今年で３年連続となります。

IT導入補助金は、中小企業・小規模事業者等のみなさまが自社の課題やニーズに合ったITツールを導入する経費の一部を補助することで、みなさまの業務効率化・売上アップをサポートするものです。この制度を活用し「FutureVision® Plus」及び「FutureVision® Building」を導入される中小企業・小規模事業者は、申請・交付決定の後、最大450万円の補助金の交付を受け取ることが可能となります。

「FutureVision® Plus」及び「FutureVision® Building」は、不動産管理会社ごとの業務内容や経営戦略・ニーズの変化に対応するカスタマイズを可能にし、不動産管理会社独自のノウハウを活かした基幹システムを適切なコストで構築することができます。

IT導入支援事業者であるギガプライズは、「FutureVision® Plus」及び「FutureVision® Building」の公式サイトに、「IT補助金のご案内」のページを設けて補助金交付申請の手続きをサポートしており、初めて補助金を申請される中小企業・小規模事業者にも、ご安心いただけます。この機会に、ぜひ導入をご検討ください。

「FutureVision® Plus」及び「FutureVision® Building 」「IT導入補助金のご案内」ページ

https://fv.gigaprize.co.jp/subsidy.html

■「IT導入補助金」の概要

補助対象	「FutureVision® Plus」「FutureVision® Building」導入費用
交付申請期間	１次：２019年5月27日（月）開始 ２次：２019年7月中旬開始予定
対象者	日本国内に本社および事業所を有する中小企業・小規模事業者など
対象者規模 （不動産業の場合）	資本金３億円以下または常勤従業員数300人以下
対象経費	ソフトウェア費、導入関連費
内容	補助率：補助対象経費の２分の１ A群：　40万～150万円 B群：150万～450万円
事業実施期間	交付決定日以降交付決定から5ヶ月を予定※4
事業実績報告期間	後日発表※4

※「IT導入補助金」公式サイト：https://www.it-hojo.jp/

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社ギガプライズ　経営企画室
コーポレートコミュニケーショングループ
TEL：03-5459-8400
Mail：pr@gigaprize.co.jp
HP：https://www.gigaprize.co.jp/

「FutureVision® Plus」及び「FutureVision® Building 」に関するお問い合わせ先】
株式会社ギガプライズ　システム開発事業部
TEL：03-5459-8404
Mail：fv_sales@gigaprize.co.jp
URL: https://fv.gigaprize.co.jp/

■『 FutureVision® Plus 』の概要

不動産業務支援システム
for Property Management
FutureVision Plus+®

『FutureVision® Plus』は、「賃貸管理」=「物件（建物）情報」・「賃貸仲介」=「部屋情報」といった、これまでの不動産賃貸システム・ソフトの先入観や固定観念を見直し、現場における業務フローの分析から、不動産情報と管理委託・賃貸媒介・賃貸契約など顧客との取引・契約行為に関する情報を、システムのデータベース構成段階より分離、構造化された「不動産マスタ」を実現する一般的な賃貸管理システムに加え、不動産業務の幅広いニーズに対応できるよう設計、開発された不動産賃貸システムです。

「不動産マスタ」では、土地や建物、フロア、部屋・区画、各種建物設備といった、本来の不動産や物的資源に関わる汎用的な情報を管理します。賃貸管理及び仲介など個別の業務や契約に必要な情報の管理は、管理業務に求められる様々な集計及び分析ニーズに対応することが可能です。さらに、使用頻度の高い機能をトップメニューに配置し、ログイン後すぐにアクセスできるよう使いやすさに重点を置いたインターフェイスを備えております。また、賃貸仲介業務における手数料売上や募集業務に関わるコスト等を物件単位で管理するなど、賃貸管理業務以外の経理情報も集計することが可能です。

『FutureVision® Plus』公式サイト： https://fv.gigaprize.co.jp/



特長

1. 構造化された不動産マスタ
2. メニュー画面のカスタマイズ機能
3. 物件単位で経理情報を管理
4. 物件検索エンジンAPI（オプション）

■『 FutureVision® Building 』の概要

『FutureVision® Building』は、賃貸ビル管理に不可欠な機能を集約した「Foundation Program」をベースに、経営戦略や不動産管理（プロパティマネジメント、PM）に合わせてカスタマイズが可能な、ユーザー独自の基幹システムを構築できるビル賃貸管理システムです。最大の特長はユーザーが歩合賃料を計算できることです。また、契約や契約更新、解約、精算など、管理業務の全データを一元化、毎月変動する電気料金などの案分計算が可能で、CSV形式ファイルからデータを取り込む機能も標準装備しています。今後は、各種会計ソフトとの連動機能をオプションとして提供する予定です。

『FutureVision® Building 』公式サイト：http://fv.gigaprize.co.jp/bldg/



特長

1. 管理業務に関わる全てのデータを一元化。
テナントとの契約・契約更新・解約精算・お客様対応・PMレポートなど管理業務の全てを網羅しています。
2. 電気料金等変動費の按分計算が行えます。CSVデータからの取込機能標準装備
3. 商業ビルで必要な歩合賃料計算が行えます。
4. PMレポート標準装備
5. ファームバンキング連動機能標準装備

株式会社ギガプライズ

設　　立	1997年２月
代表取締役社長	梁瀬 泰孝
事 業 内 容	集合住宅向けISP事業、監視カメラ・DVRの展開 不動産賃貸管理システムの開発・販売・保守 （名証セントレックス上場、証券コード：3830 ） https://www.gigaprize.co.jp/